

南恩納の古道

くがみほうせいかいどう
 歴史の道で知られる国頭方西海道が恩納村には所在しております。この古道は琉球王国時代に整備され、現在でいうところの国道にあたります。今回は、南恩納地区の古道と里道についてご紹介いたします。現在はOISTの施設があります旧白雲荘跡地の海岸沿いに古道が通っていました。新しいもので一号線と呼ばれ、記憶に残っていらっしゃる方々も多いと思います。一号線の地下には古道が眠っていました。平成17年度に沖縄県立埋蔵文化財センターによる遺跡の試掘確認調査で姿を現しました。古道は岩盤を削って平らにした痕跡や通りやすいように石を敷き、道の縁には石を並べている痕跡などが確認されております。南恩納の文化財調査で里道を確認しました。年代は新しく現代から近代ごろと考えられます。道の下には馬車などが通った痕跡の溝が確認されました。

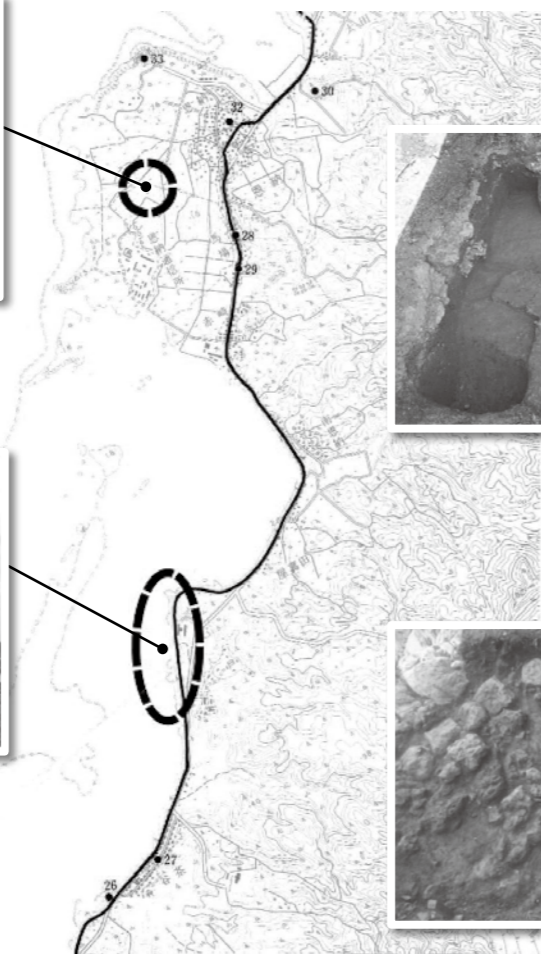


▲南恩納の里道跡

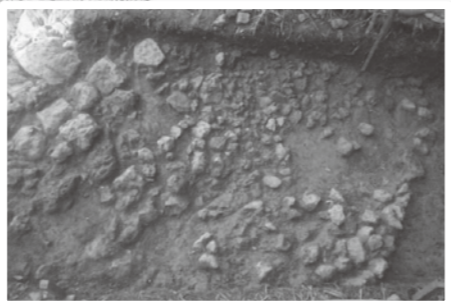


▲海岸沿いの歴史の道 遠景

道筋と沿道の文化財分布図
 (恩納村谷茶～恩納村大田)
 地図は沖縄県歴史の路調査報告書より



里道下のわだち▲



歴史の路の石敷の痕跡▲

文化財普及事業「歴史ロードを歩こう」を開催いたします。

恩納村教育委員会・博物館では歴史ロードを歩こう事業を毎年5月の第2週土曜日に開催しております。参加には申し込みが必要となりますので恩納村博物館までお問合せください。
 日 時:平成28年5月14日(土)9時集合(9:00～12:00まで予定)
 定 員:50名(定員になり次第締め切らせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。)
 村民のみなさまのご参加をお待ちしております。

● 問合せ ● 恩納村博物館 ☎ 982-5112

(文化財担当 崎原)

平成28年度企画展「小蛾類の世界」を開催しています。



しょうがるい
 恩納村博物館では5月22日まで展示会「小蛾類の世界」を開催しています。この展示会は沖縄市立郷土博物館にて平成28年1月～3月まで開催されていた展示会の移動展です。

しょうがるい
 「小蛾類」という言葉に馴染みがない方も多いと思いますが、ガの中でも小さな種が多いグループを小蛾類と呼んでいるそうです。羽を広げても1～2cmくらいの小さいガを観察するには虫メガネが必要ですが、普段あまり気に留めない小さなガを見てみると面白い発見があるかもしれません。

しょうがるい
 展示では恩納村で捕獲された小蛾類の標本も数多く展示しており、平成28年3月に新種として登録された小蛾類の標本も展示しますので、是非、この機会にご来場ください。

しょうがるい
 しょうがるい



主 催：恩納村博物館
 共 催：沖縄市立郷土博物館
 監 修：寺田剛(小蛾類研究者)
 開催期間：～5月22日(日)まで
 休 館 日：5月2、6、9、10、11、12、16日
 開館時間：午前9時～午後5時
 (最終入館は午後4時30分)
 会 場：恩納村博物館2階企画展示室
 観 覧 料：無料



◀展示している標本

恩納村博物館・恩納村文化情報センター 燻蒸消毒・展示品入替え作業に伴う休館について

恩納村博物館の資料を後世に守り伝えるため、博物館内で薬品を用いた害虫駆除の燻蒸消毒作業及び展示品の入替え作業を実施いたします。薬品の使用中は人体に影響が出る恐れもありますので、期間中は関係者以外の立ち入りを制限するために、博物館・文化情報センターを臨時休館とさせていただきます。期間中はご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

臨時休館期間：平成28年5月10日(火)～12日(木)の3日間(終日)

対 象：恩納村博物館・文化情報センター敷地内

※期間中は住民票・印鑑登録証明書の自動交付機の使用もできません。

※平成28年5月13日(金)より通常どおり開館いたします。



(学芸員 後藤)